

平成31年 1月24日

県政記者クラブ報道機関 各位

山形県観光文化スポーツ部
インバウンド・国際交流推進課国際交流室

平成30年度山形県海外技術研修員（南米）帰国時の知事表敬訪問について

海外技術研修員 2名（ブラジル及びアルゼンチン）が研修を終え、知事を表敬しますの
でお知らせします。

記

- 1 日 時 平成31年 1月25日（金） 13時から13時20分まで
- 2 場 所 知事室（県庁5階）
- 3 来 訪 者 海外技術研修員 2名（ブラジル及びアルゼンチン 各1名）
※ 詳細は別紙のとおり
- 4 来訪目的 本県では、南米県人会等から将来を担う青年を山形県海外技術研修員と
して受け入れて専門分野の技術研修を行い、相手国の発展に貢献する人材
の養成と県民との交流を通じた友好交流の推進を図っています。
今年度、南米からの研修員は7月から研修を受けておりましたが、この
たび研修を修了し、1月末に本県を離れ帰国の途に就くことから知事を表
敬するものです。
- 5 取材について
 - (1) 取材される方は、県庁5階旧記者会見室に12時50分までにお集まりください。
 - (2) 知事室での取材は、フルオープンとなります。
 - (3) 取材にあたっては、現場の担当者の指示に従っていただくようお願いします。

担 当：観光文化スポーツ部
インバウンド・国際交流推進課
国際交流室長 後藤
TEL 023-630-2124
報道監 観光文化スポーツ部次長 齋藤

山形県海外技術研修員受入事業の概要について

1 目的

地方における国際協力事業として、南米県人会や姉妹友好県州から将来を担う青年を受け入れて専門分野の技術研修を行い、相手国の発展に貢献する人材を養成するとともに、県民との交流を通じて友好交流の推進を図る。

2 実績

昭和51年度から平成29年度まで、ブラジル、アルゼンチン、パラグアイ、ペルー、インドネシア、中国等33カ国から289名を受入れている。

《国別内訳》

南米166名（ブラジル117名、パラグアイ18名、ペルー19名、アルゼンチン12名）
 インドネシア35名（パプア州）
 中国42名（うち黒龍江省 41名）
 その他（JICA推薦）27カ国46名（昭和57年度～平成14年度）

《研修内容別内容》

農業59名、医学56名、工業19名、コンピュータ30名、その他125名

平成30年度は、7月下旬からブラジル及びアルゼンチンの2名のほか、10月下旬～11月上旬に中国・黒龍江省の1名（医師）を受入れ（計3名）。

※ 中国からの研修生は約2週間の研修

3 今年度の研修員（南米）及び研修内容等

① 研修員氏名等

研修員氏名	国籍	年齢	研修項目	技術研修受入機関
唐木田 リリアン マリ	ブラジル	32歳	歯科医	山形大学医学部
チャパーロ マリーア ピラール	アルゼンチン	28歳	広告企画制作	株式会社フロッツ 東北芸術工科大学

② 主なスケジュール（来日後、約1ヵ月間は日本語集中研修を受講）

平成30年7月20日（金） 南米からの研修員来日・来県
 9月3日（月）～ 山形大学、フロッツでの技術研修
 （唐木田、チャパーロ）
 10月1日（月）～ 東北芸術工科大学での技術研修（チャパーロ）
 平成31年1月30日（水） 研修修了、離県
 31日（木） 出国

以上